

なかつがわ



平成31年 中津川市議会 3月定例会



雪が残る恵那山と桜

目次

2019年度当初予算	②
2019年度予算トピックス	⑤
平成30年度3月補正予算の概要	⑥
議案	⑨
特別委員会報告	⑫
常任委員会報告	⑭
特別委員会報告	⑮
一般質問	⑯
行政視察受入状況他	⑳

トピックス

■2019年度一般会計当初予算
388億円(対前年度比 4.5%増)

■財政健全化への道すじ

- ・自主財源の確保
- ・市有財産の有効活用
- ・施設の統廃合と維持管理経費の削減
- ・公営企業等の経営健全化による繰り出し金等の削減

当初予算 各部の主な取組みと議会の所見

※□・・・各部の主な取組み、■・・・議会の所見

政策推進部・・・・・・・・・・

□平成31年度の総仕上げ、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を評価し、次期戦略に繋げ市政の課題に取り組み、「市総合計画」中期事業実施計画を効果的に推進します。

■人口減少対策として、リニアを活用したまちづくり構想を取りまとめ、中心市街地、観光に効果が出せる政策を期待します。

定住推進部・・・・・・・・・・

□中期実施計画にも掲げられている「若者の地元定着・移住促進」を重点的に取り組んで参ります。
新しく移住サポーターの配置、集落支援員の活用など地域力の強化・移住者の受け入れ体制の充実を図っていきます。

■市の活力の源である人づくり、地域づくりを地域事務所や総合事務所、関係部署と連携、協働して進めて頂き、中津川の魅力PRや情報発信の強化など、若者を中心とした地元定着・移住促進策をオール中津川で積極的に展開していただきたい。

農林部・・・・・・・・・・

□平成31年4月からスタートする「森林環境譲与税」を最大限に活かし、ハード面とソフト面の事業に取り組みます。「農地担い手対策」「畜産振興対策」などにより支援を行い生産基盤の強化を図ります。

■森林環境譲与税の活用を期待しています。「国、県、関係機関、関係部署」との連携を強化し、各事業を確実に進めていただきたい。

文化スポーツ部・・・・・・・・・・

□「学び、活かす市民」を育むために「読書」・「1市民1スポーツ」・「ふるさとに誇りをもつ」の人づくりを基本方針として、生涯学習の振興、読書活動の推進、文化の振興、スポーツの推進に取り組みます。

■2020年東京オリンピック・パラリンピックに出場するアメリカ女子レスリングチームの中津川市での合宿を支援し、国際水準のスポーツを身近で学べる機会を生かし、スポーツを推進していただきたい。

総務部財務局・・・・・・・・・・

□市有財産運用管理マスタープランの実行を推進し、平成31年度も引き続き行財政改革推進プランに掲げた目標効果額をしっかりと生み出し、継続的な財源を確保してまいります。

■行財政改革を前に進め事業評価をしっかりと行い、リニアのまちづくりのために取り組んでいただきたい。

市民福祉部市民局・・・・・・・・・・

□障がい者福祉、高齢者(老人)福祉への補助金支援、児童虐待の早期発見、子育て支援における産後ケア事業の新設に取り組むとともに、8万人のヘルスアップ事業による健康づくり意識の高揚を図り、「健康寿命」を延ばす取組み推進により、健やかで安心して暮らせるまちづくりに努めます。

■子育て、健康、医療、福祉と幅広い分野において、市民の安心を育む「部」として、扶助の充実と健康に対する市民の意識の向上と自主的予防活動による「健康寿命」を延ばす施策展開に期待します。

商工観光部・・・・・・・・・・

□「岐阜の宝物」などの地域資源や特産品等を活用した市内周遊観光の企画立案や体験型観光を促進し、また、まちづくり会社と連携し、空き店舗等の利活用を促進させ、まちなかを回遊する仕組みづくりを進めます。

■リニアが来る街としても、このチャンスを逃すことなく活気ある中津川市を目指した取り組みに期待します。

2019年度 当初予算

予算決算委員会報告(3月14日～19日)

一般会計：388億円(対前年度比4.5%増)

(単位：千円、%)

	2019年度		2018年度		比 較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
一般会計	38,800,000	51.3	37,127,000	49.6	1,673,000	4.5
特別会計	20,382,910	26.9	21,423,355	28.6	△1,040,445	△4.9
企業会計	16,511,802	21.8	16,363,315	21.8	148,487	0.9
合 計	75,694,712	100.0	74,913,670	100.0	781,042	1.0

◎一般会計予算の主な特徴と金額

【歳 入】

- 市税：景気の緩やかな回復基調を背景として、対前年度当初比2.6%増。
99億2,778万6千円(H30年度 96億7,815万4千円)
- 地方消費税交付金：10月からの税率引き上げ(予定)分について、手続きの関係で町村への交付は次年度以降と予測されますが、引き上げ前の需要により、対前年度当初比3.3%増。
12億3,550万円(H30年度 11億9,610万円)
- 地方交付税：対前年度当初比2.4%減。
101億4,480万円(H30年度 103億8,970万円)
- 寄附金：ふるさと納税により、対前年度当初比50.1%増。
1億5,586万円(H30年度 1億386万円)
- 市債(借金)：対前年度当初比33.6%増。
39億9,200万円(H30年度 29億8,730万円)

【歳 出】

- 職員人件費(退職金は除く)：H31年度当初の職員数752人、対前年度当初比0.1%増。
55億5,755万8千円(H30年度 55億5,038万7千円)
- 公債費(借金返済)：公債費負担適正化計画の方針に従い、借金残高を計画的に減らしてきた結果、対前年度当初比6.5%減
37億9,504万9千円(H30年度 40億5,832万1千円)
- 投資的経費：文化会館改修事業、こども園整備事業の本格化等により、対前年度当初比51.1%増。
70億6,099万1千円(H30年度 46億7,241万8千円)
- 投資及び出資金・貸付金：対前年度当初比13.9%減。
8億8,780万1千円(H30年度 10億3,092万7千円)

2019年度 当初予算 トピックス・主な事業

○災害に強い安全なまち

地域の「防災リーダー」を育成するとともに、自主防災組織や施設管理者などと連携し、地域防災力の向上に努めます。
また、地域の自主防災会、事業者などと連携し住宅などの耐震化を推進します。

・住宅・建築物耐震化促進事業	26,210 千円
・避難所開設運営マニュアルの整備	人件費対応
・避難所の資機材購入、停電対策など	7,249 千円
・消防団員活動に必要な資材などの購入	4,724 千円
・地域防災リーダーの育成による防災力の向上	5,451 千円
・消火栓・防火水槽等の整備	90,981 千円

○歴史文化に魅力があるまち

当市の歴史・文化資源の魅力を発信するとともに、拠点となる文化施設の改修を進めます。

・遠山家伝来資料の調査	3,800 千円
・文化会館改修事業	226,197 千円

○健康に暮らせるまち

市民の健康づくりの推進と医療体制の維持に取り組みます。

・8万人のヘルスアップ・ウォーキングの推進	679 千円
・地域医療対策事業	13,800 千円

○温かい福祉のまち

誰もが地域や家庭で安心して暮らすことができるよう、一人ひとりにあったサービス・支援に取り組みます。

・乳幼児等医療費助成事業	293,096 千円
--------------	------------

○将来を担う人材が育つまち

一人ひとりの児童生徒に応じたきめ細かな指導、安全・安心に過ごせる環境の確保などに取り組みます。

・小学校英語学習の支援	11,256 千円
・中学 2、3 年生で 35 人相当学級の推進	5,628 千円
・福岡地区 4 小学校の統合（小学校建設事業）	37,317 千円
・子ども園整備事業	560,470 千円

○若者の地元定着・移住促進の強化

高校生、大学生などの地元就職に向け、地元企業の良さや、農業への就業支援策などを PR するとともに、企業、学生双方の就職活動を応援します。

・雇用対策事業・若者の地元定着推進事業	3,956 千円
・若者の地元定着推進事業	1,000 千円
・木材関連産業人材確保事業	3,700 千円
・すこ技中津川プロジェクト事業	2,847 千円
・テレワークで多様な働き方の創出	6,893 千円
・新規就農者総合支援事業	21,260 千円

当初予算 各部の主な取組みと議会の所見

※□・・・各部の主な取組み、■・・・議会の所見

リニア都市政策部・・・・・・・・・・

□都市間連絡道路やリニア駅周辺の土地区画整理事業など、リニアのまちづくりの基盤整備にあたる部分に引き続き取り組み、一歩ずつ着実に前へ進めて参ります。

■市民の声に耳を傾け、リニアの駅が岐阜県の東の玄関口となり、経済と観光の効果を出せる事業の取り組みを期待します。

環境水道部・・・・・・・・・・

□「安全」「安心」な水の持続的な供給と公共水域の保全のための水の循環に積極的に関わることを目的として、水道管や配水池の耐震化に取り組みます。

■災害に強い中津川市を目指し、「安全・安心」な水を供給するために事業を確実に進めていただきたい。

総務部総務局・・・・・・・・・・

□総務局は「チェンジ」をコンセプトに、これまでのやり方を見直すことを第一に取り組んでいきます。
特に職員の健康管理と働き改革について人事課に保健師を配置して職員のメンタルヘルスを含む健康管理につままして強化を図って参ります。

■4月からの機構改革により総務部は総務局と財務局からなり業務は多岐にわたり増大することが予測されます。また、臨時・非常勤職員の任用、服務規律等も大幅に変更となります。職員一人一人が健康で明るく職務に精励されることが、市役所全体の活気につながるものと期待します。

消防本部・・・・・・・・・・

□市民の皆様が安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくりを目指し、持続可能な消防体制の整備を図るため、消防救急体制の推進、火災予防の推進、消防施設設備の整備、消防団の充実強化を強力に推し進めていきます。

■消防団員の確保及び装備の充実をはかり、より強く連携されて、市民の安全・安心を守っていただくよう切にお願いします。

建設部・・・・・・・・・・

□主要事業として、国道 19 号と国道 257 号を結ぶ青木斧戸線道路整備事業と神坂パーキングエリアスマートインターチェンジ設置事業を進めます。

■道路整備が色々な分野で効果を発揮することを願い、確実な事業の取り組みを期待します。

病院事業部・・・・・・・・・・

□「新公立病院改革プラン」の方針を強く意識し、二つの医療機関の一体的運営、効率的人材配置、機材の一括管理等効率的経営体制を確立して、医療分野における将来の持続的な市民の安心・安全なまちづくりの要となる病院経営に取り組みます。

■中津川市民病院と坂下診療所の連携を強化していただき、やさか地区の方々の不安・不便を解消する二つの医療機関の充実を図っていただきたい。経営（財政）基盤の確立と医師を中心とした医療スタッフの確保には更なる尽力を傾注していただき、市民の安心・安全の要であることを期待します。

教育委員会・・・・・・・・・・

□将来を担う人材が育つまちの実現に向け、幼児教育では坂本こども園の建設を進めるとともに、引き続き保育士確保に努め、小学校では質の高い外国語教育を実施する体制の整備、中学校では 35 人相当学級を実施することによる学力の向上、働く親のニーズに応じた子育て支援や切れ目のない支援により、心身ともにたくましい子の育成を目指します。

■小学校での外国語の特別指導助手の配置や中学校の 35 人相当学級の実施等世代、時代に適した施策によるたくましい子の育成と学力向上とともに、潜在的待機児童の発生を抑えるなどの親のニーズに応え、親・子の両面からの将来を担う子の育成施策を期待するものです。

平成30年度

⑤ 緊急対応が必要な事業

26,285 千円

- 高齢者福祉施設等運営事業…1,048 千円
山口デイサービスセンター椿苑の民間移譲に向けた修繕
- 橋りょう新設改良事業…17,500 千円
恵那峡大橋のネット設置及びボルト補修工事
- 文化会館改修事業…5,400 千円
中津川文化会館椅子撤去工事
- 芝居小屋管理事業…1,523 千円
明治座くれ板作成委託料 2,000 枚、基金積立金
- その他…814 千円

⑦ 人件費の補正

214,281 千円

- 職員給与費…159,767 千円
自己都合退職等 19 人、嘱託職員退職 45 人
- 病院事業…54,514 千円
坂下病院自己都合退職 5 人
坂下老健自己都合退職 3 人

⑧ 事業費等の精算を行う事業

△312,127 千円

- 障害者総合支援給付事業…23,691 千円
児童発達支援及び生活介護に係る扶助費の増額
- 介護保険事業会計繰出金事業…1,032 千円
介護保険料所得段階別被保険者数の確定による
- 河川災害復旧事業…△8,000 千円
国の災害査定による対象額確定による
- 道路橋りょう災害復旧事業…△31,000 千円
国の災害査定による対象額確定による
- 青木斧戸線道路整備事業…△150,246 千円
社会資本整備総合交付金の額の確定
- 神坂 PA スマートインターチェンジ設置事業
事業費の確定 …△182,500 千円
- 法人保育所事業…28,746 千円
国の公定価格単価の改定及び年間実績見込みから
- 子育て支援事業…6,150 千円
H29 年度子ども・子育て支援交付金の確定

⑥ 受注機会平準化対策

162,265 千円

※年度内の工事量の偏りを解消するための早期発注を図るとともに、今年度は 10 月からの消費税増税前の完了を目指すものです。

- 高齢者福祉施設等運営事業…13,623 千円
老人福祉センターのトイレ改修工事等 9 施設の修理・修繕費
- 自主防災組織育成事業…1,912 千円
旧市内の街頭消火器の更新 220 本
- 観光施設管理事業…4,072 千円
きりら坂下駐車場の舗装修繕と福岡ローマン
渓谷キャンプ場の管理棟屋根改修工事
- 公民館総務事業…11,149 千円
落合公民館ホール雨漏り修繕 他 5 公民館の
修繕工事等
- 文化施設管理運営事業…6,491 千円
アートピア付知交芸プラザの屋根雨漏り防水
修繕
- 道路維持補修事業…31,700 千円
中津 277 号線側溝蓋維持修繕 他 9 市道の修
繕等
- 交通安全施設設置事業…14,000 千円
2 車線幹線道路区画線設置工事、道路照明施
設設置工事
- 道路新設改良事業…30,000 千円
阿木 22 号線道路改良工事 他 5 市道の改良・
舗装等工事
- 公園等維持管理事業…18,900 千円
苗木浄水公園法面補修工事 他 2 公園の補修・
修繕工事
- 小学校施設営繕事業…4,634 千円
東小学校プール内部塗装改修工事
- 保育所施設営繕事業…25,784 千円
苗木保育園舎屋根改修・加子母保育園未満
児室屋上防水改修工事

3 月補正予算

予算決算委員会報告（補正予算）

（2月25日）

平成30年度 3月補正予算の概要

- | | |
|-------------------|----------------|
| ① 国・県補助金等を活用する事業 | ⑤ 緊急対応が必要な事業 |
| ② 寄附金を財源とする事業 | ⑥ 受注機会平準化対策 |
| ③ 学校等へエアコンを設置する事業 | ⑦ 人件費の補正 |
| ④ 基金積立のための事業 | ⑧ 事業費等の精算を行う事業 |

■補正を行う会計

一般会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・2,408,210 千円

特別会計

国民健康保険事業会計（事業勘定）・・・・・・・・・・ 42 千円
国民健康保険事業会計（直診勘定）・・・・・・・・・・ 繰越明許費のみ
下水道事業会計・・・・・・・・・・ 繰越明許費のみ
介護保険事業会計・・・・・・・・・・ 40 千円

企業会計

病院事業会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・54,514 千円
合計 2,462,806 千円

■補正の主な内容

① 国・県補助金等を活用する事業

50,649 千円

- 感染症予防事業…21,927 千円
風しん抗体の保有率の低い世代の風しん抗体検査
- 商業振興事業…4,695 千円
H31 年度のプレミアム付き商品券発行準備
- 消防団員活動事業…4,527 千円
消防団へのデジタル簡易無線機の配備：100 台
電波利用料：100 台分
- 県営事業負担金…19,500 千円
県事業の増額補正に伴う市負担金増額分

② 寄附金を財源とする事業

1,827 千円

- 阿木生産森林組合 様：1,000 千円
阿木交流センター施設整備に活用
- 深谷医院（深谷泰弘）様：500 千円
高山保育園の保育環境の充実に活用
- (株) ジェイ・ケイ・ドウ・トラベル 様：200 千円
発達支援センターつくしんぼの備品購入に活用
- (株) 高峰楽器製作所 様：107 千円
坂下中学校備品購入に活用
- (株) 東濃新報社様：20 千円
美術品購入等に活用

③ 学校等へエアコンを設置する事業

1,333,249 千円

- 小学校（18 校 199 教室）…842,983 千円
- 中学校（12 校 93 教室）…280,542 千円
- 学校給食調理場（6 調理場）…27,054 千円
- 保育所（12 園 42 教室）…107,103 千円
- 幼稚園（5 園 15 室）…42,649 千円
- 阿木高校（7 教室）…32,918 千円

④ 基金積立のための事業

931,863 千円

- リニア中央新幹線まちづくり基金…
501,566 千円
- ふるさとづくり応援基金…130,000 千円
- 公共施設整備運営基金…300,215 千円
- 国民健康保険基金…42 千円
- 介護給付費準備基金…40 千円



小倉忠雄さん



馬場啓子さん

小倉忠雄さん（任期満了…平成31年3月31日）を再任し、同日辞任される安江千賀子さんの後任に馬場啓子さんを選任するものです。

中津川市公平委員会委員の選任

（全会一致）

ふるさと納税の年間寄附額が予想を上回ったため、返礼品等に係る経費千百92万5千円を計上し、議会の議決を得る時間的余裕がなく専決処分したものです。

専決処分の承認

（全会一致）

3月定例会は、本会議初日に公平委員会委員の選任等の人事6件に同意、条例2件、工事請負契約議案2件、補正予算5件及び議員提案の規則1件を原案通り可決。平成31年度一般会計予算など44議案を所管の委員会に付託しました。26日の最終日は付託した44議案を原案通り可決、委員会から追加提案された条例1件を原案通り可決しました。



丹羽多壽子さん



郷田恵美さん



足立すま子さん

人権擁護委員3名の任期が平成31年6月30日に満了となりますので、引き続き郷田恵美さん、足立すま子さんを推薦し、新たに丹羽多壽子さんを推薦するものです。

人権擁護委員候補者の推薦

（全会一致）



小栗仁志さんの任期が平成31年3月31日に満了となりますので、引き続き任命するものです。

中津川市教育委員会委員の任命同意

（全会一致）

中津川市行政組織条例の一部改正

（全会一致）

市の事業間の連携を強化するため関連のある組織を集約し、より機能的で効率的な組織とし、部の統合及び再編を行うため、改正するものです。

中津川市にぎわいプラザの設置等に関する条例の一部改正

（賛成多数）

市の多様な働き方プロジェクトネットワーク試験導入事業を実施するため、一部の会議室を一般への使用対象外とするほか、10月からの消費税率の改正に伴い、にぎわいプラザの使用料を改正するものです。

中津川市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

（全会一致）

人事院勧告に基づき、時間外勤務命令の上限時間を設定できるようにするため、改正するものです。

中津川市積立基金条例の一部改正

（全会一致）

国民健康保険の制度改正に伴い、国民健康保険事業の円滑な財政運営の財源として積立基金を運用するため、改正するものです。

中津川市スポーツ施設の設置等に関する条例及び中津川市文化スポーツ施設等使用料等徴収条例の一部改正

（賛成多数）

市有財産（施設）運用管理マスタープランに基づき、現在市内に6施設ある弓道場のうち、坂下弓道場、付知弓道場及び福岡弓道場を廃止するほか、10月からの消費税率の改正に伴い、文化スポーツ施設等の使用料等を改正するものです。



繰越明許費

※諸事情により、年度内に事業完成が見込めない事業について、議会の議決を得て翌年度へ繰越して執行するものです。

I. 国の第2次補正予算に伴い財源確保したもののうち、事業完了が翌年度となる事業（3月議会で補正計上）

- ◆一般会計 ……31,149 千円
感染症予防事業、商業振興事業、消防団員活動事業

II. 市立の幼稚園、保育園、学校へのエアコン設置を翌年度に繰り越して実施する事業（3月議会で補正計上）

- ◆一般会計 ……1,333,249 千円
前述③学校等へエアコンを設置する事業の全て

III. 受注機会平準化対策として予算化したものの、事業完了が翌年度となる事業（3月議会で補正計上）

- ◆一般会計 ……161,952 千円
前述⑥受注機会平準化対策事業の全て

IV. その他やむを得ない事情により事業完了が翌年度となる事業

- ◆一般会計 ……1,278,146 千円
土木費（基盤整備部関係）…760,853 千円
青木斧戸線道路整備事業、神坂 PA スマートインターチェンジ設置事業 他7事業
土木費（リニア関係）…249,840 千円
リニア中央新幹線関連掘削点整備事業、リニア駅周辺土地区画整理事業
農林費…33,311 千円
林業振興事業、林道整備事業
教育費…95,971 千円
こども園整備事業、公民館を拠点とした地域づくり事業、文化会館改修事業
災害復旧事業費…56,030 千円
農地・農業用施設災害、林業施設災害（3件）、道路橋りょう災害（5件）、河川災害
他会計繰出し金…82,141 千円
国民健康保険事業会計（直診勘定）、下水道事業会計
- ◆特別会計…193,004 千円
国民健康保険事業会計（直診勘定）…13,364 千円
下水道事業会計（坂本処理区）…179,640 千円

中津川市民福祉医療費助成金支給条例の一部改正

(全六二一致)

児童扶養手当法の一部改正に伴い、ひとり親の福祉医療費受給者証有効期間を変更するため、改正するものです。

中津川市老人福祉施設等の設置等に関する条例の一部改正

(賛成多数)

山口デイサービスセンター椿苑、山口在宅介護支援センター、山口高齢者ふれあいセンター、付知中央ふれあいセンター及び福岡いきがいサロンを民間移譲するほか、10月からの消費税率の改正に伴い、老人福祉施設等の使用料を改正するものです。

中津川市病院事業の設置等に関する条例の一部改正

(賛成多数)

中津川市新公立病院改革プランの見直しにより、坂下病院の機能を改めるため、改正するものです。
・19床の有床診療所とする。
・外来診療は、内科、眼科、小児科、整形外科及び透析は継続する。

・外科、婦人科、脳神経外科、皮膚科を市民病院に集約する。
・泌尿器科、耳鼻いんこう科は、市民病院の受入れ体制が整い次第集約する。

中津川市墓地の設置等に関する条例の一部改正

(全六二一致)

無縁化した墓の骨を収骨する合葬施設を打越墓地に整備するため、改正するものです。

財産の取得

(賛成多数)

取得財産 土地
所在地 千旦林字坂本体内
取得金額 9千5百2万8千3百50円
取得の相手方 中津川市土地開発公社

中津川市国民健康保険条例の一部改正

(全六二一致)

国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、低所得者に対する保険料の軽減対象となる所得基準額を引き上げるとともに、保険料のうち基礎賦課分の賦課限度額を58万円から61万円

円に引き上げるため、改正するものです。

中津川市犯罪被害者等支援条例の制定

(全六二一致)

犯罪被害者等の支援に関し基本理念や市の施策の基本事項を定め、犯罪被害者等が安全で安心して暮らせる地域社会を実現するため、制定するものです。

中津川市地域まちづくり活動推進条例の制定

(全六二一致)

地域住民による地域の特性を踏まえた地域まちづくり活動を推進し、地域の活性化につなげるため、制定するものです。

中津川市水道事業布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部改正

(全六二一致)

学校教育法及び技術士法施行規則の一部改正に伴い、布設工事監督者及び水道技術管理者の資格要件を改めるため、改正するものです。

中津川市営住宅条例の一部改正

(全六二一致)

(市有財産(施設)運用管理マスタープランに基づき、老朽化した大平団地及び神坂団地を廃止するため、改正するものです。

社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律等の施行に伴う関係条例の整備

(賛成多数)

10月からの消費税率の改正に伴い、市が徴収している使用料等のうち、消費税の課税対象となる35の条例の使用料等を改めるため、改正するものです。

不正競争防止法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理

(全六二一致)

工業標準化法の一部改正により、鉱工業品等の統一規格の名称が「日本工業規格」から「日本産業規格」に改正されたことに伴い、7条例中に使用している字句を同様に改めるため、改正するものです。

財産の取得

(賛成多数)

取得の目的 土地区画整理事業の進捗をよくを図るため。
取得財産 旅館及び会議室
所在地 千旦林字坂本体内
取得金額 9千4百90万5千4百1円
取得の相手方 名古屋市天白区梅が丘五丁目1706番地(南タイゼン)

財産の無償譲渡

(全六二一致)

譲渡財産 中津川市情報通信ネットワーク整備事業で構築した光ファイバーケーブル設備及び付属設備
譲渡の相手方 岐阜市梅ヶ枝町2丁目31番地 西日本電信電話株式会社

財産の無償譲渡

(全六二一致)

市有財産(施設)運用管理マスタープランに基づき、次の3施設を(中津川市社会福祉協議会に無償譲渡するものです。
①山口デイサービスセンター



市道路線の認定・変更

(全六二一致)

- ②付知中央ふれあいセンター
- ③福岡いきがいサロン

濃飛横断自動車道整備に伴い、認定・変更するものです。
認定路線

- ・坂本293号線
- ・坂本294号線
- ・坂本295号線
- ・坂本296号線
- ・坂本191号線
- ・坂本287号線
- ・坂本283号線
- ・2級市道前田、津戸井線

変更路線

- ・坂本293号線
- ・坂本294号線
- ・坂本295号線
- ・坂本296号線
- ・坂本191号線
- ・坂本287号線
- ・坂本283号線
- ・2級市道前田、津戸井線

工事請負変更契約の締結

(全六二一致)

工事名 坂本133号線道路改良工事
工事変更の内容 主桁の鉄筋錆処理とコンクリート補強の追加
契約金額 変更前 1億4千3百64万円
変更後 1億5千7百51万4千40円

契約の相手方 中津川市茄子川2077番地 三和建設株式会社

工事の委託に関する協定の変更

(全六二一致)

中津川市浄化センター建設工事委託協定について、仮設工の不施行により協定金額を減額するものです。

協定金額 変更前 2億7千5百万円
変更後 2億4千5百74万円
契約の相手方 日本下水道事業団



地域の人々の交流、新たな子育て環境を創る「坂本こども園」

指定管理者の指定

（全会一致）

施設の管理を指定管理者に行わせるため、指定するものです。

①施設名

中津川市付知デイサービスセンター

指定先

（株）中津川市社会福祉協議会

②施設名

中津川市坂下交流施設（きりら坂下）

指定先

（株）クリエイト

角領辺地に係る総合整備計画の策定

（全会一致）

計画区域

中津川市加子母角領地域

計画期間

平成31年度から平成35年度まで

計画内容

スクールバス整備事業

塩野細野辺地に係る総合整備計画の策定

（全会一致）

計画区域

中津川市神坂塩野細野地域

計画期間

平成31年度から平成35年度まで

計画内容

県営中山間総合整備事業

（農業施設、消防施設）

中津川市議会議務局事務分掌規則及び中津川市議会議務局職員の職名及び補職名規則の一部改正

（全会一致）

議会議務局の課の名称を議会議務課に、係の名称を総務係に改めるため、改正するものです。

中津川市議会委員会条例の一部改正

（全会一致）

中津川市行政組織条例の一部改正に伴い、総務企画委員会、文教民生委員会及び産業建設委員会が所管する部の名称を改めるため、改正するものです。

特別委員会報告

◆リニア中央新幹線対策特別委員会

3月20日

○リニア中央新幹線等に関する最近の動向について

- ・濃飛横断自動車については、一部区間について順次用地交渉や地元関係区への説明会を開催する予定です。
- ・JR東海の進捗状況は、山口非常口（中央アルブストンネル）、瀬戸非常口については、斜坑トンネルの掘削や樹木の伐採が開始されました。

○三市一村（中津川市、下呂市、郡上市、東白川村）議会合同会議について

白川町の合同会議への加入については、受け入れることとし、会議の名称に「濃飛横断」という名称を追加することについては、幹事会で今後協議するという意見に集約され、この内容を次期に申し送ることが確認されました。

委員会のまとめ

今後もしリニア関連事業については、市民への分かりやすい情報提供を要望していきます。

賛否が分かれた議案

議案名
平成30年度中津川市一般会計補正予算（第11号）
平成30年度中津川市病院事業会計補正予算（第4号）
平成31年度中津川市一般会計予算
平成31年度中津川市国民健康保険事業会計予算
平成31年度中津川市駅前駐車場事業会計予算
平成31年度中津川市下水道事業会計予算
平成31年度中津川市農業集落排水事業会計予算
平成31年度中津川市特定環境保全公共事業会計予算
平成31年度中津川介護保険事業会計予算
平成31年度中津川市個別排水処理事業会計予算
平成31年度中津川市後期高齢者医療事業会計予算
平成31年度中津川市水道事業会計予算
平成31年度中津川市病院事業会計予算
中津川市にぎわいプラザの設置等に関する条例の一部改正について
中津川市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について
中津川市スポーツ施設の設置等に関する条例及び中津川市文化スポーツ施設等使用料等徴収条例の一部改正について
中津川市老人福祉施設等の設置等に関する条例の一部改正について
社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律等の施行に伴う関係条例の整備について
財産の取得について（千旦林地内の旅館、会議室）
財産の取得について（千旦林地内の土地（地目：田））

上記賛否が分かれた議案の議決結果はいずれも以下のとおりでした。

会派	中津川自民クラブ	市民クラブ	新政	公明	ネ	無	共	議決結果
氏名	鷹見憲三 大堀寿延 勝彰 岡崎隆彦 吉村浩平 柘植貴敏 島崎保人 水野賢一 森益基 吉村孝志 吉村久資	柳松直子 牛田敬一	鈴木雅彦 三浦八郎	鈴木清貴 田口文数	佐藤光司	粥川茂和	木下律子	可決
賛否	賛 賛 賛 賛 賛 賛 賛 賛 賛 賛 賛	賛 賛	賛 賛	賛 賛	賛 賛	賛 賛	否	

※ 新政：新国会、公明：市議会公明党、ネ：市民ネット21、無：無党派、共：日本共産党

常任委員会報告

◆総務企画委員会

1月30日
〔所管事務調査〕（財務部）

○市税の現状と見通しについて

税収に密接する人口及び経済動向等と合わせ
税収の現状と将来見通しについて調査しました。

現状・課題

当市の人口は、1990年の85,387人をピークとして2015年では78,883人まで減少。2035年には68,260人まで大きく減少。高齢化比率は35%に達すると予測されます。納税者が減少すれば当然税収にも影響することは必ずです。

今後の対応

日本経済は緩やかな景気回復が続く、当市においても独自の税収アップ施策に取り組んでいることから、大幅な税収増は見込めないものの、人口減少と打ち消しあうと予測。向こう10年間は97億円で推移すると見通しています。

委員会のまとめ

独自の施策が頓挫したり、予定通り進まないことにより、税収減にならないよう進捗状況を常に注視するとともに、歳入計画をしっかりと立てるよう切望しました。

◆文教民生委員会

2月1日
〔所管事務調査〕（文化スポーツ部）

○歴史文化遺産の現状と今後の活用について

当市の歴史文化遺産の保存の現状と課題、今後の活用計画について調査しました。

現状・課題

当市の歴史文化遺産は、中津川市教育振興基本計画に基づき、保存・整備に努めています。しかし、多様な文化財を適正に保存・管理するには多額の費用と専門的知識が不足していることが課題です。

今後の対応

苗木城跡は、石垣等の修復を中心に整備を進めており、その整備完了後、中山道落合宿本陣の整備事業に取り掛かります。

委員会のまとめ

歴史文化遺産は、後世にしっかりと引継がなければいけない貴重な遺産であり、更には地域の活性化や観光振興にも繋がる貴重な資源であるため、行政・市民が一元となって保存・管理していく必要があります。

◆産業建設委員会

2月7日
〔所管事務調査〕（農林部）

○市内における農産物の現状と課題について

当市における農産物のブランド化、就農者の現状、今後の対策について調査しました。

現状・課題

当市は県下2番目の耕地面積を誇り、水稻を中心に、夏秋トマト、夏秋なす、栗のほか、旬の野菜や柿、茶なども栽培されています。

農業従事者は、65歳以上が75%以上で若年層の就農率が非常に低く、後継者不足、経営規模の縮小と収入の減少などが大きな課題です。

今後の対応

新規就農支援を含め、国、県、JAと協力して支援を行っていきます。

委員会のまとめ

夏秋トマトの栽培において土壌栽培のハウスを利用した冬季の合間のホウレンソウの栽培や多収種栽培システム（独立ポット耕栽培）は、従来の栽培方法に比べて2倍の収穫が期待され、大変有効だと考えます。

特別委員会報告

◆議会改革特別委員会

1月28・29日

先進地行政視察

◆愛知県豊田市

〔議会改革について〕

【目的】

市民の議会活動への参画がどのように行われているかを調査し、今後の活動に生かします。

【概要】

議会報告会において意見交換の在り方が発言者の要望クレームとなっており、建設的な意見交換ができなくなり、2017年より常任委員会の関係する団体との意見交換会に変更し、現在に至っています。

【委員会のまとめ】

当市も常任委員会の所管事務に関連する団体と意見交換する機会が必要と考えます。市議会として課題に関連するシンポジウムを開催することで議会と市民がつながる有効な手段と考えます。

特別委員会は、調査研究が終了次第、委員会として市長に提言するしくみを確立していきます。

◆静岡県掛川市

〔議会改革について〕

【目的】

議会活動において議会から政策提言をどのような方法で行われているかを調査し、今後の活動に生かします。

【概要】

議会報告会から政策討論会へ幹事会（会派選出議員）がテーマを設定し議会報告会を開催。その後、政策討論会（政策研究）を経て、議会から市長に提言を行い施策・予算に反映しています。

【委員会のまとめ】

掛川市は市の課題を現状分析・研究を行い、その結果を議会報告会で報告しています。その後、政策討論会で議論し政策提言するサイクルを回しています。また、条例制定の過程でシンポジウムを開催することで、市民との一体感が生まれています。中津川市も掛川市を参考に政策提言できるよう取り組んでいきます。

◆議会改革特別委員会

3月13日

○議会改革について

議会改革に関する項目で積み残された左記の内容を整理し、方向性を明らかにしました。

①議会改革基本条例の改正
不断の見直しが必要であり継続する。

②通年議会
現状の開催方法とする。

③本会議・常任委員会等の公開
委員会記録の公表は現状の手法とするが、さらに改善を進めるために継続して取り組む。

④各委員会・会派の行政視察報告
速やかに報告する事や議員連絡協議会で報告する等現状通りとする。

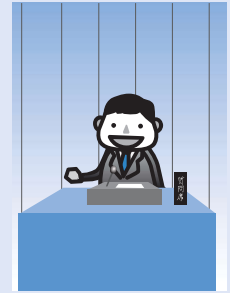
⑤議長・副議長の任期
議会運営委員会での申し合わせ事項とした。

○中津川市議会における災害時の対応について

市内において大規模な災害が発生した場合に議員がとるべき行動の指針を定める。
①議員の安全確認（自発的に事務局に報告）
②災害情報の伝達（議員は議会事務局と情報のやり取りをする）

一般質問 ここが知りたい!

一般質問は、議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め、または質問することです。今回は11人の議員が行いました。その中から主な質問と答弁の要旨を紹介します。質問等の詳細につきましては、市議会ホームページの「映像配信」または「会議録」をご覧ください。



前期事業実施計画について

牛田 敬一

問 平成26年より平成30年までの前期事業実施計画において、定住推進に重点が置かれました。その取り組み内容と効果を伺います。

答

戦略事業では、平成27年度から域学連携事業、移住希望者へのPR事業や各種補助金交付事業、平成28年度は住宅取得等補助のふるさとお帰り支援事業、新婚世帯向け家賃補助事業や中津川体験ツアー、平成29年度は中津川で暮らす家賃補助事業、空き家再生リフォーム補助事業や名古屋市内中央線沿線世帯向け移住PR、平成30年度は移住促進ドラマを制作・放送しました。移住者数は平成27年度182人、平成28年度343人、平成29年度345人と右肩上がりが増加しました。域学連携事業では地元高校生を含めた中心市街地周辺をフィールドとした取組みを開始し本町に拠点施設「コアガリ」を整備しました。包括的連携協定を9大学と締結し年間延べ6千人を超える若者の活力で地域活性化に取組みました。(定住推進部長)



児童虐待について

田口 文数

問 全国の児童相談所が平成29年度に対応した児童虐待は13万3千778件で、前年度より1万1千203件(9.1%)増え、過去最高となりました。

①当市の児童虐待の通告件数を伺います。
②家族に暴力を振るDV(ドメスティック・パヨレンス)により、家族から引き離し保護した事例は、近年何件ありましたか。

答

①平成29年度に福祉相談室が受けた児童虐待通告件数は7件です。また、東濃子ども相談センターが虐待として対応したケースは33件で、合計で40件です。虐待の内訳は、身体的虐待21件、心理的虐待12件、育児放棄7件です。
②家族から引き離した事例は、平成26年度が11件、平成27年度が4件、平成28年度が10件、平成29年度が8件です。(健康福祉部長)



坂下病院を診療所にするに及びその関連施策が市民に与える影響と対応について

鈴木 雅彦

問 「坂下病院を診療所にするに及びその関連施策が市民に与える影響と対応について」
坂下病院が市民病院に移動されることにより、看護師さんが市民病院に移動されることにより、看護師さんなどが市民病院に移動されることにより、退職される。そんな中で、訪問看護ステーションはほえみの看護士さんはじめスタッフが不足し、これまで利用されておられた方々が、今まで同様のサービスが受けられなくなる事態にならないか心配である。」といったご意見をいただいています。そのような事態が発生するようなことはないでしょうか。

答

訪問看護サービスは、今までと同様のサービスを継続していくように考えています。現在市民病院内に訪問看護ステーションはほえみの中津川出張所を設置し、やさか地区及び北部以外の中津川地区への訪問看護の対応を目指し準備を進めています。今後も地域包括ケアシステム構築の中で訪問看護ステーションをより一層充実していく必要があると認識しています。(病院事業部長)



子牛の繁殖センターと消防器具庫について

岡崎 隆彦

問 ①肉用牛生産農家は家族経営が多く、繁殖センター建設に大きな期待をされています。今後どのようにしていくか伺います。
②高額の消防器具庫を計画している地域があり、建設が困難と思われる。今後10カ所建設が必要があり、地域的な優先順位付けだけでなく、経済的に建築できる器具庫も建設優先順位の中で考慮すべきではないか伺います。

答

①当市は、県内2位の飛騨牛の産地として、畜産農家が安定的に飛騨牛を生産できる体制の整備は大切であり、繁殖センターは重要な施設だと認識しています。今後も、県との相互協力により、市として最大限の支援を行えるよう協議会で検討します。(農林部長)
②消防器具庫整備は、消防団が活動しやすく、出動等を考慮し適正な場所に建設することが必要と考えます。消防器具庫の統廃合を行い、消防力が集中できるよう、消防団、市関係部局と連携し、財政的なことも考慮し、早期に計画を進めて参ります。(消防長)



病院事業改革について

粥川 茂和

問 坂下病院から市民病院への直通バスの運行について、やさか地域まちづくり懇談会は、中途のバス停で乗車を可能にする要望があります。可能にするためには北恵那バスの運行が必要で、予算の問題を考慮すると、同社路線の夕森公園線や藤沢線、川上地域の通学バス運行の見直しと、乗り合いタクシーの導入が考えられますが所見を伺います。

答

地域交通は、様々な状況を考慮し、地域の状況により運行を見直していきたいと考えています。また、交通事業者の関係するところもあるので、しっかりと調整が必要になると思います。来年度は、苗木地区でタクシーを利用したグループタクシーの実証実験を予定しておりますのでコミュニティバスと併用しない形で導入の検討をしていきます。(定住推進部長)



市街地における都市計画・道路行政について

吉村 浩平

問

①現在の市街地での都市計画・道路状況を踏まえての市の基本的な考え方を伺います。
②青木斧戸線の開通について、国道257号方面から来た車両が直接国道19号へと接続できる効果とともに、市役所周辺の渋滞緩和にも寄与すると考えられますが、現在と比較して交通量はどのように変化すると見込んでいますか。

答

①当市の都市計画に関する基本的な方針をまとめた都市計画マスタープランでは、市街地である中心地区は、都市の拠点として安全で快適な環境を創出することになっており、土地利用の状況を見極めながら、用途地域の変更を検討すること、また、都市計画道路などの幹線道路を整備することが示されており、市の基本的な考え方となります。(リニア都市政策部長)
②青木交差点での交通量推計によると、苗木方面から市役所方面への現況交通量1日当り5,027台が、将来交通量は1日当り1,819台に減少すると見込んでいます。(基盤整備部長)



仕事と家庭の両立支援策について

櫛松 直子

問

①仕事と育児、介護の両立支援策を充実することが、中津川市は働きやすいまちというイメージに繋がりを、移住・定住推進にも繋がると考えます。要望が多い放課後児童クラブの増設が出来るでしょうか。
②就労している人が親などの介護認定の申請や手続を行う際、休暇を取つての対応が必要となります。仕事との支障が少なくなるよう、休日や就業後に手続が出来る窓口の設置は出来ませんか。

答

①利用児童数の増加に伴い、平成31年度に付知北校区に学校教室を利用し新規設置する予定です。南と西学区では定員増、落合では神坂地区の児童受け入れを新たに始める計画を進めています。(教育委員会事務局長)
②新規申請の場合、申請者の状態等によりケアマネージャー等との連携が必要になると、全てを休日に済ませることは難しいです。ホームページで事前準備ができるよう内容を充実していきます。(健康福祉部長)



当市の奨学金制度について

森 益基

問

この地域の医師確保を図ることを目的として、平成20年度にスタートした東濃地域医師確保奨学金等貸付制度について、これまで利用された延べ人員と医師確保の状況について伺います。

答

平成20年度から30年度の東濃地区奨学金貸付の実人員は54名です。その内当市は20名で、中津川市民病院へ勤務している貸付者は、現在0人です。平成24年から26年に1名が中津川市民病院で勤務していましたが、平成27年から他の医療機関で研修中です。研修終了後に改めて中津川市民病院で勤務する予定と伺っています。現状から、今後中津川市民病院の魅力を上げていくことが必要と考えています。(健康福祉部長)



中心市街地の活性化について

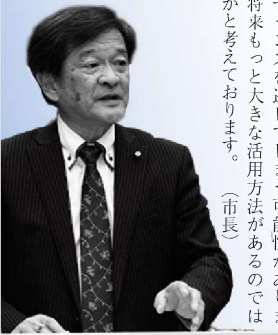
吉村 久資

問

当市議会に示された中津川市リニアを活用したまちづくり構想(案)には、私が旧新町ビルの活用論争の時点から、図書館用地として最速と発言し、現在もそう考えるにきわい広場について、にぎわい広場の表示のままで、この一等地の構想は示されていません。広場のままの構想と理解してよいのか伺います。

答

中心市街地活性化拠点施設の供用開始後の駐車場として利用するほか、現在と同様にイベント会場や六斎市などのイベント時の駐車場として多目的に利用していきます。(商工観光部長)
にぎわい広場については、今の開発計画の中には入れておりませんが、これから民間の進出も考えられ、種地として持つていなければ、チャンス逃してしまふ可能性がありそうです。将来もつと大きな活用方法があるのではないかと考えております。(市長)



リニア中央新幹線の開業に向けての街づくりにについて

佐藤 光司

問

リニア岐阜県駅周辺(美乃坂本駅)について、特色ある地域が大切で、高度医療を提供できる施設の確保が必要と考えます。リニア岐阜県駅周辺に配置し、人を呼び込める地域とすべきだと思います。海外を含めた高度医療(循環器系・脳外科系・臓器移植系など)に対応する医療施設を誘致する考えはありませんか。

答

民間の中でもそういった案があると聞いていますので、案の一つとして将来土地利用の中で、市としても検討していくことが必要でないかと考えます。(リニア都市政策部長)



タクシーを活用したお出かけ推進について

木下 律子

問

地域要望の強い地域交通、とりわけ玄関から目的地までの交通支援が望まれています。
①昨年策定した地域公共交通網形成計画にある実証実験は決まりましたか。
②その内容を説明してください。
③利用が多く効果が上がればよいが、利用が少なく効果が上がらない場合はどうしますか。

答

①平成31年度予算に実証実験の経費を計上しています。
②外出支援として、市内タクシー業者が高齢者を対象に実施している割引サービスに市が一定の割引を上乗せし、経済的負担の軽減を図るものです。グループで利用することで料金の自己負担も下げ、タクシーを活用したお出かけを推進したいと思えます。対象地域は苗木で、期間は3か月です。地域の協力を得て、グループ単位で申請者を募り、割引券などの配付を考えています。
③結果を検証し、考えて行きます。(定住推進部長)



◎ 中津川市へ行政視察に来られました ◎

平成 30 年度の受け入れ状況

来市月日	来市団体	視察内容
30. 5.30	兵庫県稲美町議会	小水力発電事業について
30. 7. 3	山形県南陽市議会産業建設常任委員会	移住・定住支援事業について
30. 7. 3	東京都町田市議会建設常任委員会	中津川市景観計画について
30. 7.23	長野県坂城町議会社会文教常任委員会	結婚支援事業 (ハッピーマリッジプロジェクト) について
30.10.10	愛知県尾張旭市議会会派（つなぐ）	中津川市発達支援センターつくしんぼの概要について
30.10.11	新潟県村上市議会市民厚生常任委員会	小水力発電設置事業について
30.10.16	秋田県大仙市議会建設水道常任委員会	上水道と簡易水道の統合について
30.10.17	石川県能美市議会人口減少対策特別委員会	移住定住支援について 移住ガイドブック「中津川に住もう！」について
30.10.17	福島県須賀川市議会会派（市民連合）	移住・定住について
30.10.22	長野県山ノ内町議会総務産業常任委員会	地域公共交通網形成計画について
30.11. 1	佐賀県小城市議会産業建設常任委員会	移住定住支援事業について
31. 3.27	兵庫県川西市議会会派（明日のかわにし）	ドクターカーについて

全会議	（4回）
総務企画委員会	（3回）
文教民生委員会	（3回）
産業建設委員会	（3回）
予算決算委員会	（5回）
議会運営委員会	（6回）
リニア中央新幹線対策特別委員会	（1回）
議会改革特別委員会 （協議会含む。）	（2回）
議員連絡協議会	（2回）
全員協議会	（2回）

議会開催状況 12月22日～3月26日

阿木と坂本で つるしひな飾りの展示

それぞれの会場には多くの観覧者が訪れていました。
議長をはじめ議員も参観させていただきました。



編集後記

▼ 3月議会では、平成31年度の予算が審議され、主要事業の予算が決まりました。

▼ リニア関連事業については、市民に受け入れられる形で、事業が進められることが必要です。

▼ 若者、特に子育て世代が定着したいと思えるかたちでの、支援等がなされるかが大切です。

▼ 議会としても、そうした観点から、その執行を注視していきます。



30 年度議会と市執行部